

和の伝統文化講座（俳句編）

「俳句って楽しそうだけどルールが難しそう…」なんて感じたことはありませんか？

でも、そのルールを知るごとに面白さが増していく、そんな魅力も持ち合わせています。

今回は初心者向けの俳句の作法を学びながら、ことばの奥深さに触れていきます。

日常のかけがえのない一瞬の積み重ねを、一緒に五七五のリズムに刻んでいきましょう。

新年を迎え、新しいことに挑戦してみたい方、ぜひお待ちしております♪

1 日 時 令和8年1月13日、20日、27日、2月3日（火曜日・全4回）

午前9時30分から11時30分

2 内 容 初心者向けの俳句の基礎を
学んだり、皆が作った句の
講評を行い、俳句を楽しみます。

3 講 師 矢崎 すみ子 先生
(沖南信濃支部俳句会)

4 会 場 中央公民館 1階 第1会議室

5 定 員 16名

6 受講料 1,000円

7 持ち物 筆記用具（お持ちの方は、歳時記・電子辞書も）

8 受講資格 市内在住、在勤、在学者

9 申込先 茅野市中央公民館

10 申込方法 電話(0266-72-3266)または
インターネット(Logoフォーム)から申込

11 受付開始 12月2日(火) 午前10時から



▲熱心に作句する昨年度の講座参加者の皆様



▲申込フォーム



中央公民館公式キャラクター
「ちの まなぶ」君

◎俳句の起源って？

俳句は短歌から派生して生まれ、江戸時代に松尾芭蕉によって俳諧は芸術にまで高められました。明治時代になると、俳諧の革新を提唱した正岡子規により「俳句」として一般に定着します。俳句は短詩型文芸として確立され、今日まで続く日本の代表的な文芸のひとつとなりました。

(参考)岩手県立図書館 https://www.library.pref.iwate.jp/ex/2021_kajin-haijin/main/01_tanka-haiku.html